



組合はいつも
文句ばかり?
いいえ!

不誠実な会社に怒っている

① 1年近く経って

ようやく団体交渉

昨年7月に開催された本部定期大会での発言を基に、申2号「安全第一主義」「現場第一主義」の企業風土の再構築と法令を遵守したJR東日本の健全な経営を求める申し入れを申し入れたが、約1年後の今月になって、ようやく団体交渉を開催したという。

申し入れ後の団体交渉は速やかに開催されるのが一般的だが、こうも長期間申し入れ事項を放置されて、労働者が黙っていられるはずがない。会社は自分の時間軸ばかり意識して、肝心の法令遵守の意識はどこへ行ったのか?

MAIL NEWS JR東日本輸送サービス労働組合
2021.06.15
No. 270

本部 MAIL NEWS No.270 より

時	【申し入れ日】2020年7月17日(金)
系	【日程調整】2021年5月27日(木)
列	【回答日】2021年6月14日(月) 10時00分
	【団体交渉日】2021年6月14日(月) 14時30分~

申2号は、輸送サービス労働の「全組合員の声に基づいた申し入れであり、その意義と重みを受け止めるべきだ!

回答は遅れ、申し入れ項目1つにしても答えが返ってこない

《組合》コロナ禍という国難とも言える事態を乗り越え、JR東日本グループが将来にわたって事業を継続していくために「安全第一主義」「現場第一主義」の企業風土を再構築し、法令を遵守した健全な経営を行っていくこと。



《会社》新たな次の成長戦略を描き実現していくために、健全な危機感を持ち、「変革2027」の取り組みのレベルとスピードを上げていくとともに、生産性を高め、収益力を向上させるため、引き続き事業全般における構造改革を推進し進めていく考えである。

労働組合の求めに...

自分の理論だけで答えになっていない!
※席上議論したが、反故にされる恐れが...

② 公式回答が

答えになっていない

先の申し入れ事項に対する会社の公式回答を読んでもみよう。「上図」答えるところか会社の考えばかり述べられており、要求にYESもNOも返してない。
相手が「こうしてください。」と言え、「できる」「理由があつてできない」などの答えが返ってくるのが自然だと思わないか?
労働組合は文句ではなく現状に即した要求をしているに過ぎない。それに対して御託を並べて結論をぼかし、話が通じない状態は極めて不誠実。これはいいわけがない。

労働者や利用者に向き合わず、話が通じない状態で危ない橋を渡ろうとしている会社でいいんですか?